

どんな人であろうが差別や区別なく意見を聞く 会津若松市議会の議会改革に学ぶ

鶴岡市議会・議会運営委員会（佐藤博幸委員長）が10月16日から18日まで、「議会改革」をテーマに視察研修をおこないました。

研修先は福島県会津若松市議会、栃木県那須塩原市議会、群馬県桐生市議会の3カ所です。

政策形成サイクル

会津若松市議会の議会改革は全国的にもトップレベルにあります。

「市民の議会参加」を第一に掲げ、「市民との意見交換会」を実施しています。

意見交換会は概ね小学校区単位に年2回行われ、市民は1回につき

2000人前後が参加し、議会報告だけでなく、市政や議会に対する意見を聞いています。市民の意見を聞いて、市政にただ伝えるだけでは「使者」にすぎないとして、問題を発見し、調査研究をおこない、条例立案、議案修正、政策提言に活かしていく仕組みをつくっています。

それが「政策形成サイクル」です。

さらに、議会では、議員が説明員に質疑するだけでは不十分で、議員同士が自由闊達に討論する「議員間討議」の制度を設けています。

会津若松市議会でも、かつては共産党系の請願は初めから反対とし

てきたが、今ではどんな人であろうが差別や区別なく意見を聞く、請願、陳情の場合も保障しているとのことでした。

戊辰150年

横山淳・議会制度検討委員会委員長の冒頭のあいさつで、9月28日、「会津祭り」に鶴岡から29人が参加したこ

と、かつて戊辰戦争で政府軍に連戦連勝した庄内藩2番大隊の、北斗七星を表す破軍星の旗を持って、戊辰150年の年に会津若松市のメイン道路を歩いたことに大変な感謝と感激の言葉がありました。

看菊花

朔風颯々軽寒加
郁郁黄英白亦嘉
此菊開尽更無花
既老芳葩偏耐久

北風がさつと吹いて、寒さを感じる

匂いのよい黄色の花（菊）が香を放って咲いているが、白の菊の花も又よい

この菊の花が咲き終えたあと、その後に咲く花はもう見ることができない

咲いてから老いてきた菊の花は、もつばらがまんして、以前とかわらなく

咲きはこつている

朔風||北風、颯々||さつと風が吹く音、軽寒||うすら寒さ、郁郁||匂いの良いさま、黄英||黄色い花、嘉||うつくしい、よろしい、芳葩||よい匂いの花、偏||せつに、もつばら、ひとえに、

菊花を看る

朔風 颯々として軽寒 加わる
郁郁たる黄英 白も亦嘉し
此の菊 開き尽して更に花 無し
既に老いたる芳葩偏に耐えること久し

城貞（藤の花）

【絵を描く】

豪雪―映画館倒壊

加藤貞雄（山王町／上平形出身）

鶴岡市内の山王通りから小路に入った所にスカラ座と呼ばれた映画館があった。戦前から長い間洋画を中心に市民に親しまれてきたその映画館が、十年ほど前の冬に雪の重さで倒壊した。

そこで観た映画の思い出は今も消えない。中学生のころは、学校帰りに立ち寄ってシヨウウィンドのポスターを眺めてはワクワクし、思い切つて入口の下足番に靴を預けて館に入った。戦時中は始めに戦況を報道するニュース映画があつて、観客の戦意高揚感をかき立てた。

2階の映写室の窓から映写のカメラが顔を出して、スクリーンに向けて明るい光を放っていた。私たちはいつもその近くに陣取つて、スクリーンの映像を見下ろした。ふざけ騒いで階下に落ちて大怪我をした仲間がいて語り草になった。

高校時代、英語の先生は大の洋画ファンで、英語の勉強も兼ねて、先生を交えて英語クラ

我が家から50メートルほど離れているそのスカラ座が倒壊したのだ。平成21年12月23日朝8時すぎ、積雪の重さで大きな音を立てて崩れた。数日前から庄内地方に豪雪警報が出されていて、積雪は1メートルを超え、雪の階段を作つて玄関に降りていくほどであった。その後大雨がやってきて、雪の重さに堪え切れずスカラ座は倒れた。

その光景は悲惨で、なにか大事なものが崩れていくような気持ちに襲われた。

皮肉なことに2階の映写室が残つていて、そこからあの映写のカメラが悲しそうな眼差しを向けていた。



スカラ座倒壊

2つの「だいいい」

我が国のスーパーマーケット業界を牽引するトップリーダーだったダイエーは、今は残念ながら見る影もない。片や大映、社長永田雅一は戦後の日本映画界のボスの存在。

戦後の勃興期、中内功（イサオ）と読むが一般的には「功」と書く。「刀」カタナではなく「力」は、小売業界の売上高日本一を目指した。しかし企業の経営は売上の額ではない筈。

私の友人に長沼のAさんが居る。20年ほど前、茨城県に出稼ぎに行っていた。仕事場はスーパーダイエーの商品倉庫である。

常識では客に売る商品を手頭に並べるための空間であるべきなのに、Aさんの働いていた倉庫は逆さまだった。お金を支払って食品などを買った客が、自宅に持ち帰っても保管場所がないからとの理由で、ダイエーの倉庫に当分の期間、預かってもらうのだ。

Aさんからのこの話を聞いた私は、ダイエーの将来は「危ないな」と瞬間感じたものだ。ダイエーが庄内交通のビルに進出した際の、売り場のBGMと業務用放送設備は、私の会社「大成電気」で納入したものです。

ダイエーの結末はみなさんがご覧の如く、庄交ビルからも撤退しました。

でも幸いなことに大川商店のSモールが引き継いで繁盛しているようです。

庄交の本山彌氏とSモールの大川一郎社長が鶴岡南高の同期生という吉縁があったからかも知れませぬ。

映画会社・大映の永田雅一社長は色んな意味で面白い人だった。政財界人との交際が派手で、余計な財力と時間を消耗し過ぎたのも破綻の一因では…。

前回55回の「おあい船」（おあいおわい。汚穢）は、読者数人か

ら「面白かったよ」と話しかけられた。

そのうちの1人、昭和7年生まれの方が20歳の頃、温海温泉に遊びに行った際に見聞きした光景を話してくれました。

ある日の朝、同じ形の重そうな木樽を背にくくり付けた10数人の集団と出会ったとのこと。

温海川の海辺近くの最下流に集合し、樽を背にした体形のまま、蓋を開けて体を横にねじって、中味を一齐に川に放出したとのこと。温泉旅館従業員の共同作業と思われるが、広大な海というスケールメ리트があればこそ出来る話である。



片山大臣きちんと前をむいてください 倉田 新 しんぶん赤旗11月13日付

だまされては遺憾！

「アジアカ・太平洋戦争⑤」「生きて虜囚の辱めを受けず」による「処置」

青山 崇

ジュネーブ条約は、傷病者に対しては人道的に処遇し、治療に当たることなどが規定され、捕虜になることを認めている。

日本も認め全体に指ししている。

を最大の恥とし厳しく禁止した。

それを説明した小冊子に、航空兵が、敵地上空で飛行不能になった時は、飛行機と運命を共にし、生に執着して虜囚の辱しめを受けることは断じてあつてならないと記している。

戦陣訓の基になつてゐるのは1882（明治15）年の軍人勅諭である。

「朕（天皇）は汝ら軍人の大元帥なる」とし、「下級の者が上官の命令を承ること、実は直



ダメな内閣

世の中・知らない事だらけです。特に近頃のカタカナ語には附いていけません。年齢に関係なく、俺みたいな人は多いのではないのでしょうか。しかし、これが漢字になれば違ってくるでしょう。

▲確かに漢字の読み方は難しいです。聞いた話ですが、県下でも名のある人の挨拶原稿の「水稻」にカナが附つてあつたとの事でした。「出納」を間違つて読んだのは聞きました。

▲これで「資質」をウンヌンする気はないんですが、やっぱりテレビにあんな姿が映つては、国民は考えるでしょうや。なにが適材適所だ・とネ。全員野球は2軍なんだか3軍なんだかと思つて。

▲失礼ながら、当選すれば次の選挙の事だけを考えていればいい人を

ちに朕が命令を承ることと心得よ」と言い渡している。

後者は、「上官の命令は天皇の命令」として、上官が一般兵を、暴力・侮辱などをする私的制裁に使われたのである。

私的制裁を当時は「処置」と言い、軍は建前としては根絶を強調していたが黙認した。

その結果、日本の軍医・衛生兵などによる日本傷病兵の殺害すら起こつたのである。

を、俄かに大臣に挙げればあんなことになるんじゃないですか。当人だつて名誉とは思えどもびつくりでしょうや。五輪のことなんか日頃から意識になかつたんだらうし。渡されたメモの質問項目まで読むようでは…。

▲かたや、女性が活躍する社会を説く首相が、唯一引つ張り上げた大臣の事だ。秘書たかどうだがが問題ではなく、カネで繋いだ話。これは全くの事件ですヨ。モリカケみたいにゾッパル作戦ですかネ。

▲しかも収支報告にあんなに記載漏れがあるなんて。高学歴が自慢で、どうせ見つかるメーの氣だつたか。これらは大臣にならなければ出てこなかつたんだらうか。他にも何人か週刊誌にあつたゼナ。

▲テレビのワイドショーでは、この2人いつ辞めるんだらうかと、賑やかだヨ。（石川）